

卒業するすてきな新和っ子の皆さんへ

「卒業証書授与式中止」という知らせを聞いて、新和っ子そして、保護者の方は、どれだけショックを受け、どれだけ悲しんだことでしょう。それは、私達教職員も一緒です。「卒業証書を渡すだけ」には、どうしてもしたくなかったので、このような形になりました。皆さんには、本当に申し訳なく思います。

振り返れば、「陸上大会」は雨のため中止。新型コロナウイルス感染防止のために「謝恩会」「六年生を送る会」、そして「卒業証書授与式」も中止。小学校生活を振り返ると残念な事ばかり。いいえ、そうとは言い切れません。たくさん楽しいことやサプライズなことがあつたはずです。大人の勝手な解釈かもしれませんが、「中止」を決めるのは、とても大変なことです。色々なことを想定して、色々な人の意見を聞いて決めます。最優先は、「命」と「健康」です。「中止」という決断に逆らってまで「実施」は、難しいです。なぜなら、「命」が関わってくるからです。中止は、とても残念ですが、何らかの方法で、皆さんの思いに応えたいと思っています。「陸上大会」は「新和記録会」、「謝恩会」は「六年生の思い出ムービーの視聴」、「六年生を送る会」は「学年ごとの発表」と、形を変えて行うことができました。そして、今日の「卒業証書を渡す会」。いつものように正式な形ではありませんが、「思い」は一緒です。ぜひ形ではなく、思いを大切にしてほしいと願っています。

今日皆さんに卒業の記念として、パンジーの鉢植えを差し上げました。このパンジーの花は、学校で種から育てました。パンジーの種は、とても小さくて一ミリくらいの大きさです。つまようじで一つ一つ植えました。少し大きくなってから、ポットに植え替えました。そして水やりをしたり、肥料を与えたりしました。水は、あげすぎてもいけないそうです。水が少ないと、水を吸い上げようと根が丈夫になります。少し大きくなったころ、今度は、鉢に植え替えました。そして、やっとこのパンジーの花が咲きました。

なぜ、パンジーの話をしたのかわかりますか。小さな種を皆さんだとしましょう。その種が育つための、太陽や水、肥料が皆さんを支えてくださっている方達です。高須学校応援団長様をはじめ、学習ボランティアの堀切様、交通指導員・防犯ステーションの方々、見守り隊・図書ボランティア・おひさまの皆様・カミナリの会の皆様にもたくさん支えていただきました。まだまだ、皆さんを支えてくださった方々は、語りつくせません。その方達に支えられ、皆さんは育ってきました。

そして、忘れてはいけないのが、皆さんのお家の人です。卒業する子に向けた親の気持ちを歌った村野四郎さんの「樹」という詩を紹介します。

樹

く卒業する子へ母の歌えるく

村野四郎

おまえが入学した時は

まるむかよわい苗木のよつだった

枝もなぐ　そして葉もなかつた  
けれども　きょう　おまえを見る時  
おおきなおどろきまで　胸をつたれる  
おまえの幹はじつがじつと  
さしかわす知恵の枝枝  
風こそよへ　やわらかな感情の残り  
おお　この美しい成長は、  
だれがくれた  
わたしはおまえとごじつと  
この豊かな恵みに  
心から感謝しよう

おまえは　まだまだ大きくなる  
やがて花を咲かせるだろう  
こずえは空に広がるだろう  
そして　深々としたおまえの茂みは  
数しれない小鳥たちの  
ねぐらになるだろう

おお　そのとき  
大きな　おまえの樹のかげに  
どんなに美しい夢を  
わたしはむすぶだろう



親の気持ちを歌った詩と言いましたが、私達も同じ思いです。皆さんが、成長し、花を咲かせることに期待をふくらませています。花は、形や色、大きさ等も人によって違います。咲く場所も違います。早く咲く人もいれば、遅く咲く人もいます。しかし、皆さんが努力をし、周りの人の愛があれば必ず花は咲きます。

結びに、中学校に行っても、新和小学校で学んだこと、たくさんの方々が皆さんを支えているということ、仲間がいるということをお忘れなくください。

咲かない花はありません。どんな花が咲くのか、楽しみにしています。

令和二年三月二十四日

三郷市立新和小学校長　小河　純